戦時中の生活（３）

①干し草の生産



昭和 14 年頃　旧柳谷村（落出大橋）

日中戦争（1937-45）が始まると、軍馬の餌となる干し草作りを子どもからおとなまで総出で行いました。

写真は、※落出大橋の上で干した草をトラックに積み込むところです。

※国道 33 号線の落出大橋のすぐ上流側に架かるコンクリート造りの橋です。

②木炭の生産

木炭の生産も、各地でさかんに行われました。



旧仕七川村（昭和 15 年頃）　のぼりに「勤労報国」と書かれています



旧仕七川村（昭和 19 年）　木炭を運び出す奉仕作業

ここから下はすべて昭和 17 年頃の旧柳谷村での写真です。



永野地区



松木（まつぎ）地区





川前（こうまえ）地区

1938（昭和 13）年、日中戦争の長期化による国家総力戦の遂行の目的で、国家の全ての人的・物的資源を政府が統制運用できるようにする『国家総動員法』が制定されました。